

秦野市立上小学校様

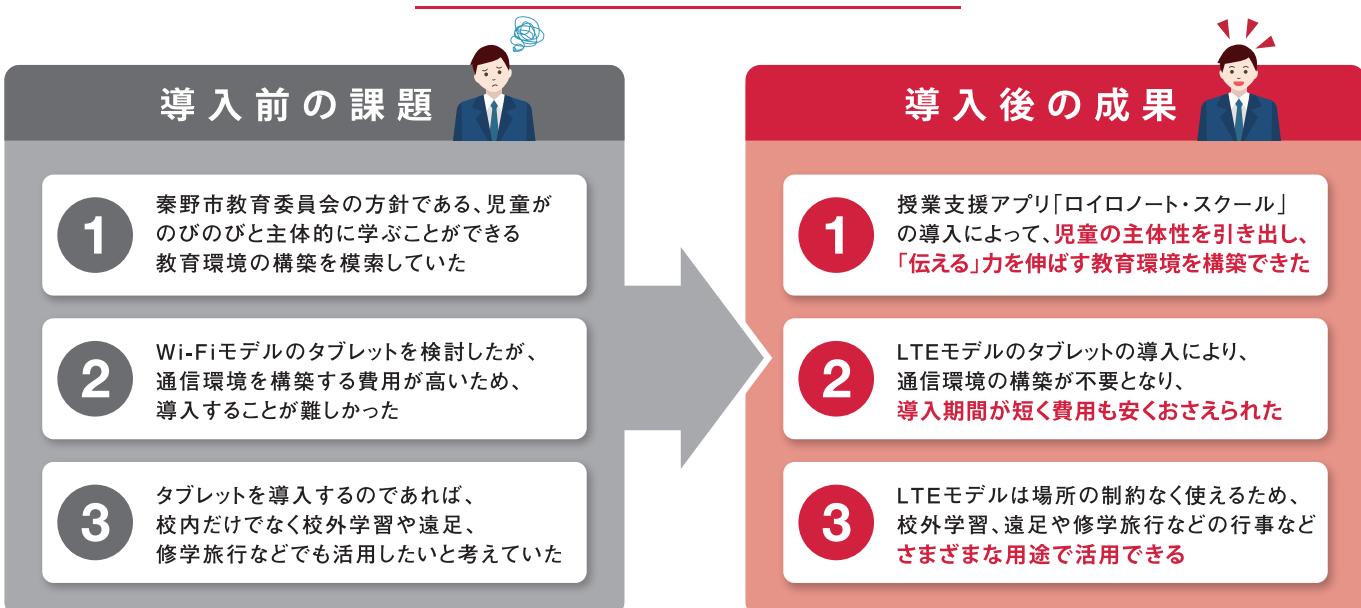
目的	従業員数	業種	エリア
教育	51名～300名	学校・教育	関東甲信越

タブレットと授業支援 アプリを活用し児童の 主体性と「伝える」力が向上

2016年、秦野市はICT推進校に指定している秦野市立上小学校に、LTEモデルのタブレットを40台導入した。同校では、タブレットに授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」などをインストールして授業で活用している。たとえば、3年生社会科の校外学習では、児童が「ロイロノート・スクール」を用いて主体的に情報収集し、スライドを作成。その後発表を行い、「伝える」力の向上を図っている。



を導入



「直感的な操作で、児童の主体性と『伝える』力が向上」

秦野市は、ICT推進校に指定されている当校に40台のLTEモデルのタブレットを導入しました。それに授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」などをインストールして授業で活用しています。

「ロイロノート・スクール」を活用した一例が、小学3年生の社会科の校外学習です。学習テーマは学校周辺で見かける道祖神を調べること。児童は「ロイロノート・スクール」のカメラ機能で道祖神を撮影したり、住民に話を聞いている様子を動画で撮影したりします。気づいたことはメモすることもできます。教室に戻り、アプリを起動すると写真や動画、メモはカードとして表示

されており、児童はカードを整理し、必要なカードをつなげるだけで発表資料が完成します。

「ロイロノート・スクール」のよさは何といつても直感的な操作性です。シンプルな操作によって発表資料を素早く作成して「どう伝えるか」を考えることに集中できるので、児童の「伝える」力が向上しました。

Company Information

1873年に創立した自然に囲まれる歴史ある小学校。校内で相撲大会を開くなど伝統を大事にしつつも、新しい取組みにも挑戦する。秦野市のICT推進校に指定されており、市内の小学校ではじめてタブレットを40台導入した。



秦野市教育委员会
教育研究所 指導主任
市川潤一氏



秦野市教育委员会
学校教育課
山口輝行氏



秦野市立上小学校長
市川知代氏



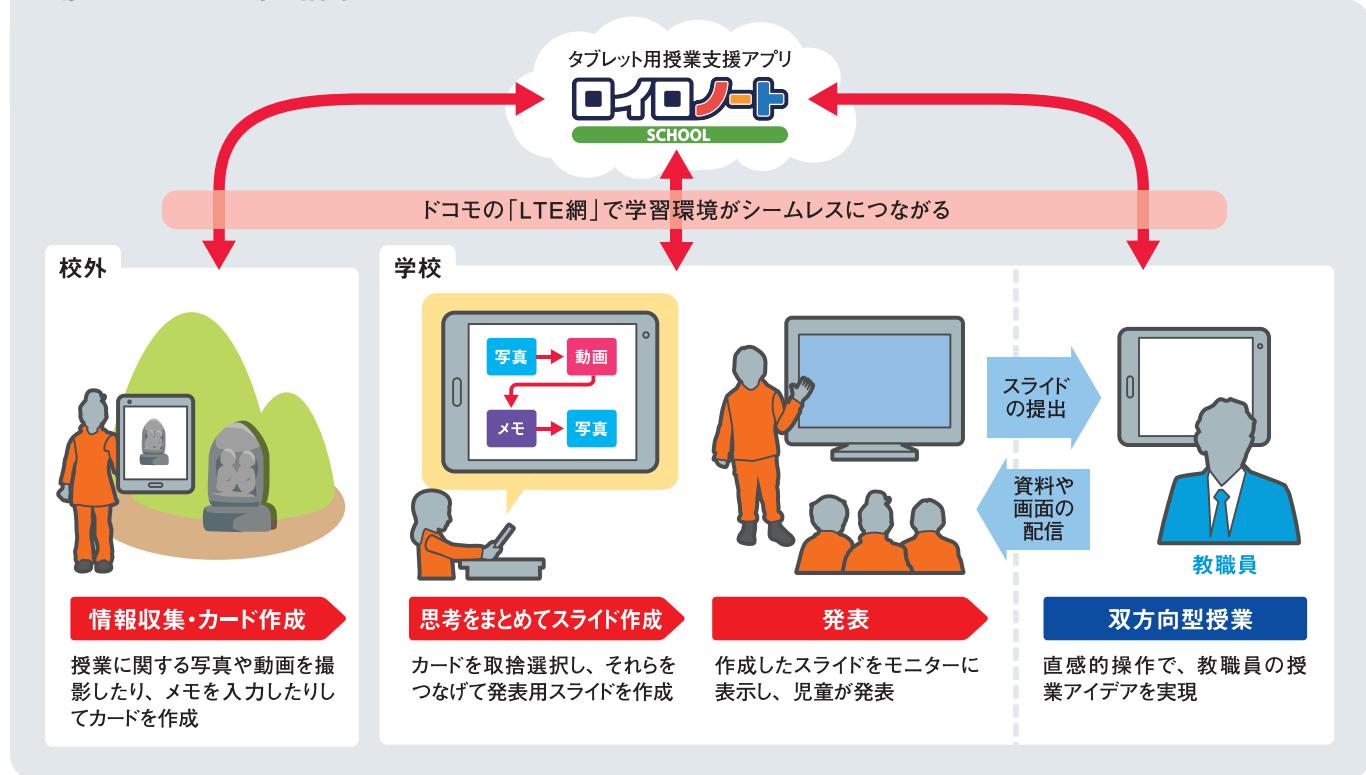
秦野市立上小学校
教諭・研究主任
山口栄一郎氏

「通信範囲の広さや運用の手軽さからLTEモデルを選択」

LTEモデルのタブレットを選んだ理由は2つあります。1つは通信範囲の広さです。Wi-Fiモデルは校内でしか通信できないのに対して、LTEモデルは校外でも通信できることが魅力でした。そのため校外の授業や遠足などの行事でも使えます。もう1つは「手軽さ」です。導入期間が短く、通信機器の管理が必要ないなど、教職員の負担が少なく運用ができます。故障が心配でしたが、保護カバーを付けることで解消し、児童も大切に扱ってくれているので、1台も壊れることなく使っています。



導入システムの概略図



■ 営業担当者からのメッセージ



第一法人営業部 第六営業・第一担当

ドコモCS 神奈川支店 法人営業部 第一法人営業担当 主査

ドコモCS 神奈川支店 法人営業部 第一法人営業担当

坂本 謙二郎 (左)

逸見 義一 (中央)

竹本 沙織 (右)

お客様の方針に即した提案ができ、結果的には子どもたちが、喜びながら学べる環境を作り上げることの一助になり、ひじょうに達成感の高い仕事をさせていただきました。

今後も、お客様の環境やご要望を踏まえた提案・支援を行っていく所存です。

お問い合わせ



ビジどこ タブレット向け電子コンテンツアプリ

Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

「ビジどこ」は、あなたの仕事がもっとスマートになるビジネス情報を発信するアプリです。
動画など、アプリならではの機能を活かした多彩なビジュアル表現でお届けします。

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

ドコモビジネスオンライン

検索

パソコン/スマホから

<http://www.ntt-docomo.biz/>

